

授業科目(ナンバリング)	生涯学習概論(AD211)			担当教員	小泉 優莉菜		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	2 年 前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
現代社会における国民の教育は、学校教育のみならず社会教育との両翼による教育となっている。学校教育と社会教育の相違の明確化と、社会教育の目的と意義を理解することをねらいとする。また、生涯学習概論は学芸員の資格取得で必修科目であることから、特に博物館と社会教育に焦点を充てて講義を展開する。授業の導入において、講義のポイント及び問題を提起し、授業内で解決方法を見出す。							②⑨
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標					評価手段・方法	評価比率
専門力	生涯学習に関心を持ち、意欲的に取り組み、生涯学習について討議することができる。					小テスト	30%
情報収集、分析力	現代の様々な社会現象を的確に判断し、自分の考えを述べるができる。					レポート	60%
コミュニケーション力							
協働・課題解決力							
多様性理解力	生涯学習に関連する学問領域の専門的な学術用語を、的確に説明できる。					授業態度・参加度	10%
出 席						受験要件	
合 計						100%	
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
評価はレポート 60%、最終課題 30%、授業態度・参加度 10%の配分で行う。授業態度・授業参加については、教師からの発問に対する応答などによって評価する。							
授業の概要							
授業方法は、パワーポイントを使用して講義を行う。また、授業内では複数回の小レポートを課す。生涯学習に関する関係法規などの資料（プリント）を配布して解説するほか、グループワークも行う。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は180分とする。							
教科書・参考書							
教科書：特に指定しない。授業時の配布資料。 参考書：大堀哲編『生涯学習概論』樹村房（2002）。 指定図書：渡邊洋子編著『生涯学習概論 知識基盤社会で学ぶ・学びを支える』ミネルヴァ書房（2014）							
授業外における学修及び学生に期待すること							
生涯学習概論は、学芸員の資格を取得するための必修科目である。日頃より博物館を見学し、生涯学習の観点からの情報を得ることを期待する。また、意欲的かつ真摯な受講態度を要求する。授業中の私語・携帯電話・飲食、及び理由のない遅刻・途中退中は認めない。							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	導入	・シラバスの説明 ・生涯学習とはなにか ・社会学習とはなにか	予習:シラバスを読み込み、不明な語彙について調べておくこと。 復習:授業であがったキーワードの中で不明なものについて確認すること。
2	生涯学習と社会教育の歴史①	明治、大正にかけての生涯学習と社会学習の変遷について説明する。	予習:明治～平成の現代史について学び直しておくこと。 復習:生涯学習と社会教育の歴史について、授業内で取り上げたキーワードの内容確認。
3	生涯学習と社会教育の歴史②	昭和、平成にかけての生涯学習と社会学習の変遷について説明する。	予習:明治～平成の現代史について学び直しておくこと。 復習:生涯学習と社会教育の歴史について、授業内で取り上げたキーワードの内容確認。
4	生涯教育論の誕生	UNESCO により提唱された生涯教育論や、OECD のリカレント教育について説明する。	予習:ユネスコの活動について、HP などを参照しておくこと。 復習:リカレント教育について、授業内で取り上げたキーワードの内容確認。
5	生涯学習と学校教育	生涯学習における学校の立ち位置や、学校教育の役割について説明する。	予習:自身の体験したことのある生涯学習についていくつか書き出してみる。 復習:生涯学習の学校の立ち位置と役割について、授業内で取り上げたキーワードの内容確認。
6	生涯学習の方法と内容	生涯学習にはどのような機会と形態があるのか、また、生涯学習と社会教育の方法について説明する。	予習:自身の体験したことのある生涯学習についていくつか書き出してみたことに対して、詳細を書き加えてみる。 復習:生涯学習の機会と形態について、授業内で取り上げたキーワードの内容確認。
7	生涯学習関連行政と関わる人材	生涯学習関連行政の仕組みについて解説する。また、社会教育と社会教育行政の違いや組織形態についても概観する。また、生涯学習に関わる社会教育職員とその役割について説明する。	予習:「社会教育主事」「学芸員」「司書」それぞれの役割について、インターネットなどを活用し調べておく。 復習:関連行政について、授業内で取り上げたキーワードの内容確認
8	生涯各期の年代による生涯学習①	発達に関する課題と生涯学習の必要性について再度の確認を行い、青少年、成人における各期の生涯学習の教育課題について説明する。	予習:「マズローの人間的ニーズ」についてインターネットなどを活用して調べておくこと。 復習:各期の生涯学習の必要性について、授業内で取り上げたキーワードの内容確認。
9	生涯各期の年代による生涯学習②	高齢者、女性における各期の生涯学習の教育課題について説明する。	予習:「ベタゴジー」「アンドラゴジー」という用語についてインターネットなどを活用して調べておくこと 復習:各期の生涯学習の必要性について、授業内で取り上げたキーワードの内容確認。
10	社会教育学習プログラム	社会教育の中で、学習プログラムとはなにか、また、そのように編成し、企画していくのか説明する。 *企画委員のグループ分けを行う。	予習:どのようなプログラムであれば人々が参加しやすく、また学びが得られるのかについて、考えてみる。 復習:社会教育の学習プログラムの作成について、授業内で取り上げたキーワードの内容確認。
11	学習プログラム編成と企画委員①	与えられたテーマをもとに課題設定を行い、グループごとに教育プログラムの作成を行う。	予習:教育プログラム企画立案に必要な内容の事前調べ学習。 復習:課題完成に向けた作業を進める。
12	生涯学習の現状(ゲスト講師)	長崎歴史文化博物館 館長 水嶋英二先生	予習:教育プログラム企画立案に必要な内容の事前調べ学習。 復習:課題完成に向けた作業を進める。
13	学習プログラム編成と企画委員②	グループごとに進めている教育プログラムの課題を進め、完成させる。	予習:教育プログラム企画立案に必要な内容の事前調べ学習。 復習:課題完成に向けた作業を進める。
14	総論	授業を通じ学んだ内容をもとに企画した、学習プログラムについてチームごとに発表し、質疑応答を行う。	予習:教育プログラム企画立案に必要な内容の事前調べ学習。 復習:プログラムの立案体験から学んだことを一覧としてまとめておく。
15	生涯学習の未来(ゲスト講師)	長崎歴史文化博物館 館長 水嶋英二先生	予習・復習:生涯学習について 15 回で学んだ内容の確認を進めておく。